

第8次刈谷市総合計画（案）第3編 基本計画

用語解説

| 用語 | | ページ | 説明 |
|----|----------|-----------------------|--|
| あ | RPA | 60 | ロボティック・プロセス・オートメーションの略で、ロボットによる業務自動化の取組のこと。人間が行う業務の処理手順を操作画面上から登録しておくだけで、ブラウザやクラウドなどさまざまなアプリケーションを横断し業務自動化を実現する。 |
| | IoT | 7, 11, 23, 38, 41, 60 | コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信したりすることにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。 |
| | ICT | 10, 31 | 情報や通信に関連する科学技術の総称で、特に、電気、電子、磁気、電磁波などの物理現象や法則を応用した機械や器具を用いて情報を保存、加工、伝送する技術のこと。 |
| | 空家等 | 8, 20, 21 | 建築物又はこれに附属する工作物であつて、居住その他の使用がなされていないことが常態であるものやその敷地（立木その他の土地に定着する物を含む。）のこと。ただし、国又は地方公共団体が所有し、又は管理するものを除く。 |
| い | イノベーション | 38 | 新しい技術の発明に加え、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造し、社会的に大きな変化をもたらす自発的な人・組織・社会の幅広い変革のこと。 |
| う | ウイングデッキ | 13 | 刈谷駅周辺の「人を引き寄せる回遊とにぎわいのあるまちづくり」に向け、愛知県と連携し、刈谷駅北口に整備する歩行者用デッキのこと。 |
| | 雨水貯留浸透施設 | 26, 27 | 雨水を一時的に貯留する施設や浸透ます、浸透管、浸透側溝、透水性舗装などにより雨水を地中に浸透させる施設のこと。 |
| え | AI | 7, 11, 23, 38, 41, 60 | 人間にしかできなかったような高度に知的な作業や判断について、コンピュータを中心とする人工的なシステムにより行えるようにした技術のこと。今後、より高度で自律的な制御システムの進展により、様々な社会課題の解決が期待されている。 |
| | SDGs | 42 | 持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals の略。）のことで、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際指標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを基本理念としている。 |
| | SNS | 33, 61 | 人と人との社会的な繋がりを維持・促進する様々な機能を提供する、会員制のオンラインサービス（Social Networking Service の略。）のこと。Webサイトや専用アプリなどで閲覧・利用することができる。 |
| お | OJT | 60 | 企業などでの社員の教育・訓練法の一つで、現場で上司や先輩が指導役となり、実際の業務を行なう中で必要な知識や技能を身につけさせていく方式のこと。 |
| か | 海洋プラスチック | 42, 43 | ごみとしてきちんと処理されず、河川などを通じて海に |

| 用語 | | ページ | 説明 |
|----|--------------------|--------|---|
| | ック | | 流れ込むプラスチック製品のこと。それらを体内に取り込んだ魚類、海鳥、海洋哺乳動物が死んでしまうなど、生態系に大きな影響を及ぼしている。 |
| | 外来生物 | 42, 43 | 海外から日本にもたらされることにより、その本来の生息地又は生育地の外で生存することとなる生物のこと。なお、自然界に定着した外来生物の内、地域の生態系や人間の健康、農林水産業などに大きな被害を及ぼす可能性があるものと認められるものは「特定外来生物」として指定されており、その飼養、栽培、保管、運搬、輸入が規制されている。 |
| | 環境都市アクションプラン | 18, 43 | 市民、事業者、行政等が連携・協力して、環境と経済が両立した持続可能で快適な「環境都市」を実現することを目的とし、様々な取組を展開するための計画。刈谷市では平成 23 年に策定、平成 29 年に改定している。 |
| | 環境配慮行動 | 42 | 日常のごみの分別や排出抑制を始め、節電・節水、リユース・リサイクル、環境への影響を考えた物品選択、省エネ家電の選択、公共交通機関の利用、緑化活動への参加など、地球環境の保全に配慮した行動のこと。 |
| | 環境保全協定 | 18, 43 | 事業者の環境の保全及び創造に向けた取組の積極的な推進を図るため、市と事業者が結ぶ協定のこと。 |
| き | 衣浦定住自立圏 | 59, 61 | 刈谷市を「中心市」、知立市、高浜市、東浦町を「周辺市町」とし、生活に必要な都市機能の確保、各市町のつながりや魅力の向上を図るための圏域のこと。 |
| | ゲートキーパー | 47 | 自殺の危険を示すサインに気付き、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守ることができる人のこと。「命の番人」とも呼ばれる。 |
| け | CASE | 23 | 自動車を取り巻く社会と技術の変化として挙げられる、Connected(コネクティッド)、Autonomous/Automated(自動化)、Shared(シェアリング)、Electric(電動化)を総称するもの。 |
| | 下水道接続率 | 28 | 下水道の供用開始区域内の人口に対する下水道で汚水処理している人口の割合のこと。 |
| | 健康寿命 | 46 | 健康上の問題で日常生活が制限されない期間のこと。 |
| こ | 公園等愛護会 | 25 | 市内の都市公園などの維持管理に協力し、公共施設愛護の精神を高揚する目的で構成される地域団体のこと。 |
| | 合計特殊出生率 | 8, 44 | その年の女性の年齢別出生率が変わらないという仮定のもとで、1人の女性(15歳～49歳)が、生涯に平均何人の子どもを出産するかを推計した値のこと。人口を維持するための必要な水準は、2.07～2.08とされている。 |
| | 公募設置管理制度(Park-PFI) | 25 | 公園において飲食店・売店などを設置・運営する民間事業者を公募により選定し、公園利用者の利便性の向上とともに、公園管理者の財政負担の軽減を図る制度のこと。2017年の都市公園法改正により新設された。 |
| | 公民連携 | 21 | 市民サービスの更なる向上、継続的な発展、地域経済の活性化などを目指し、行政や市民・民間企業等が連携して公共サービスを提供する手法のこと。 |
| | 合流区域 | 29 | 1本の下水管で汚水と雨水を同時に排除する合流式によ |

| | 用語 | ページ | 説明 |
|---|-----------------|-------------------|---|
| | | | る汚水処理区域のこと。 |
| | 国土強靱化 | 55 | 地震や津波、台風などの自然災害に強い国づくり・地域づくりを目指す取組のこと。 |
| | 国立社会保障・人口問題研究所 | 1 | 人口・世帯数の将来推計や社会保障費に関する統計の作成・調査研究などを行う、厚生労働省の政策研究機関のこと。略称は「社人研」。 |
| | 子育てコンシェルジュ | 9 | さまざまな子育て情報を集め市民の皆さんに分かりやすく伝える、子育てサービスの案内人のこと。 |
| | コミュニティソーシャルワーカー | 49 | 地域福祉の取組を進めるため、見守り、課題の発見、相談援助、必要なサービスや専門機関へのつなぎをするなど、支援を必要とする人の課題を解決するための支援を行うスタッフのこと。 |
| さ | 再生可能エネルギー | 43 | 国内で生産でき、温室効果ガスを排出しない、太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスなどのエネルギーのこと。 |
| し | 事業承継 | 11, 38, 39 | 会社などの「事業」を後継者に引き継がせること。具体的には、親族に承継する方法、親族以外の役員・従業員に承継する方法、M&Aなど社外へ引継ぐ方法の3つが挙げられる。 |
| | 指定管理者制度 | 25 | 公共施設を効果的に利活用できるよう、民間事業者や団体等に、施設管理を行わせること。多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応し、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的とする。 |
| | 集約・連携型の都市構造 | 4 | これまでの拡散型から都市機能を拠点に集約するコンパクトシティの考え方に加え、いくつかの拠点をつなぎ、互いに補完しながら都市を形成する持続可能性の高い都市構造のこと。 |
| | 重要給水施設管路 | 28 | 災害拠点病院、避難所などの重要給水施設に供給する水道管路のこと。 |
| | 重要業績評価指標（KPI） | 8, 11, 13, 15, 17 | 組織の目標を達成する上で重要となる業績評価指標のこと。達成状況を定点観測することで、組織のパフォーマンスの動向を把握でき、必要に応じて取組の見直しなどに活用する。 |
| | 省エネ・創エネ・蓄エネ | 42, 43 | 「省エネ」とはエネルギーのムダを省いて効率的に使う取組、「創エネ」とは（主として）電気を自ら創る取組、「蓄エネ」とは電気を蓄える取組のこと。 |
| | 生涯現役社会 | 51 | 人生100年時代を見据え、働く意欲のある高齢者が能力や経験をいかし、年齢に関わりなく活躍できる社会のこと。 |
| | 新型インフルエンザ | 47 | 毎年流行を繰り返してきた季節性のインフルエンザウイルスとは異なり、新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とするインフルエンザのこと。 |
| す | スマートインターチェンジ | 4, 13, 14, 20, 21 | 高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置され、通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジのこと。 |
| | スマートシテ | 7 | ICTなどの新技術を活用しつつ、都市や地域の抱える |

| 用語 | | ページ | 説明 |
|----|--------------|--------------------|---|
| イ | | | 諸課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける、持続可能な都市や地域のこと。 |
| | スマート自治体 | 7, 60 | AIやRPAなどを活用し、単純な事務作業はすべて自動処理することにより、職員が企画立案業務や住民への直接的なサービス提供などの業務に注力できる自治体のこと。 |
| | 3R | 43 | Reduce（リデュース：製品をつくる時に使う資源の量を少なくすることや廃棄物の発生を少なくすること）、Reuse（リユース：使用済製品やその部品等を繰り返し使用すること）、Recycle（リサイクル：廃棄物等を原材料やエネルギー源として有効利用すること）の3つのRの総称のこと。 |
| せ | 生活困窮者 | 49 | 現に経済的に困窮し、生活に困っている人のこと。 |
| そ | 総合型地域スポーツクラブ | 35 | 子どもから高齢者、障害のある人まで、様々なスポーツを愛好する人々が参加できる、地域住民が自主的・自発的に運営する総合的なスポーツクラブのこと。 |
| | 総合交通体系 | 11, 22, 23 | 道路や公共交通を利用する人の利便性を向上させ、誰もが移動手段を自分で選択できるとともに、移動費用や環境負荷を抑制し、移動の効率化を図るため、複数の交通手段を適正に組み合わせて行うことができる交通の仕組みのこと。 |
| | 総合治水対策 | 26 | 河川、下水道の整備や雨水流出の抑制、水防体制の強化などにより、浸水被害の発生や拡大の防止を図るための総合的な治水対策のこと。 |
| た | 多自然川づくり | 27 | 河川改修における手法の1つで、「川の働きをいかしながら複雑な地形を保全回復」、「川の働きを許容する空間を確保」、「河川の連続性を保全確保」、「河川風景を豊かにする」などの考え方を取り入れたもののこと。 |
| | 脱炭素 | 18, 22, 42, 43, 60 | 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスについて、「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。 |
| | 多文化共生 | 12, 15, 59 | 国籍や民族などの異なる人々と日本人が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。また、性別や年齢、職種、国籍、障害の有無、考え方などの違いにかかわらず、誰もが、対等で、尊重され、受け入れられ、それぞれが持つ能力と持ち味をいかし合いながら、地域で共に生きていくという考え方のこと。 |
| | 男女共同参画 | 9, 12, 58, 59 | 性別にかかわらず全ての人が、社会の対等な構成員として自らの意思によって家庭、地域、学校、職場その他の社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって平等に政治的、経済的、社会的、文化的な利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うことをいう。 |
| ち | 地域共生社会 | 15, 48 | 制度や分野、世代などの垣根を超えて、住民や多様な主体が地域の課題に自分ごととして取り組み、「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがいを共に創る社会のこと。 |

| 用語 | | ページ | 説明 |
|----|----------------|----------------|--|
| | 地域ケア会議 | 51 | 高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法。①個別課題の解決、②地域支援ネットワークの構築、③地域課題の発見、④地域づくり、資源開発、⑤政策形成の5つの機能を有する。 |
| | 地域ブランド | 36 | 他地域と差別化されたその地域の特徴的な商品、サービス及び地域そのもののイメージのこと。 |
| | 地区社会福祉協議会 | 15, 49 | 市町村内の小地域福祉課題に取り組むため自治会、小中学校区などを単位として、ボランティアなど各種団体が協働して運営する組織のこと。「地区社協」とも呼ばれる。 |
| て | D I D 地区 | 20 | Densely Inhabited District の略で、人口集中地区のこと。原則、国勢調査において、人口密度が 40 人/ha 以上の調査区が集合し、合計人口が 5,000 人以上となる統計地域が該当する。 |
| | デジタル化 | 7, 33, 60 | 通信、端末などのデジタル技術の活用によって既存のプロセスの効率化、コストの削減につなげる取組のこと。 |
| に | 認定農業者 | 41 | 農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画により、市の認定を受けた農業者（法人含む）のこと。 |
| の | ノーマライゼーション | 52 | 障害のある人もない人も地域の一員として、共に支え合いながら生活をしていくという考え方のこと。 |
| は | パイプライン | 41 | 本計画においては、農業用水を長距離にわたって配水するための、地下に埋設された管路のことを指す。 |
| ふ | フレイル | 51 | 加齢とともに運動機能や認知機能などが低下し、生活機能に影響が出始めている状態を指し、健康な状態と日常生活でサポートが必要となる要介護状態の中間の状態のこと。 |
| ほ | ポータルアプリ | 33, 61 | 情報を探す際の玄関口となるアプリのこと。刈谷市公式ポータルアプリ「あいかり」においては、必要な市政情報を検索できるのみでなく、利用者のニーズに合った市政情報を自動的にお届けできる。 |
| | ホームタウンパートナー | 13, 14, 34, 35 | 刈谷市をホームタウンとして、全国や世界で活躍するスポーツチームに「刈谷」を全国にアピールしてもらうことや、小中学生向けのスポーツ・運動指導や市のイベントへの参加等の地域貢献活動により、スポーツの楽しさや喜びを伝えることを目的とした、市のスポーツ活性化を目指す制度である「刈谷市ホームタウンパートナー制度」の認定を受けたスポーツチームのこと。 |
| | ボランティアコーディネーター | 15 | 市民のボランティア活動を支援し、その実際の活動においてボランティアならではの力が発揮できるよう市民と市民または組織をつないだり、組織内での調整を行うスタッフのこと。 |
| ま | M a a S | 23 | Mobility as a Service の略であり「マース」と読む。I C T を活用することで、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段によるモビリティ（移動）を1つのサービスとして捉える新たな概念のこと。 |
| む | 無電柱化 | 17, 23, | 防災、安全・快適、景観・観光の観点から、電力線や通 |

| 用語 | | ページ | 説明 |
|----|--------------|--------|---|
| | | 55 | 信線などをまとめて道路の地下空間に収容する電線類地中化や、表通りからみえないように配線する裏配線などにより道路から電柱をなくすこと。 |
| も | モビリティ・マネジメント | 23 | 日常生活の移動手段について、過度に自動車に頼らず、公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用するよう自発的な転換を促す交通施策を展開していく取組のこと。 |
| ゆ | 遊水機能 | 26, 27 | 河川沿いの田畑等において、雨水や河川の水を流入し、一時的に貯留する機能のこと。 |
| | 優良農地 | 4, 41 | 10ha以上の規模の一団の農地で、区画が大きく大型農業機械の使用が可能な農地のこと。 |
| | ユニバーサルデザイン | 23, 25 | 「すべての人のためのデザイン」を意味し、文化・言語・国籍や年齢・性別などの違い、障害の有無などを問わずに利用できることを目指めざした建築・製品・情報などの設計（デザイン）のこと。 |
| よ | 要配慮者 | 55 | 災害が発生した場合、情報把握、避難、生活手段の確保などの活動が、円滑かつ迅速に行いにくい立場に置かれている人のこと。 |
| り | リニア中央新幹線 | 4, 13 | 東京都から名古屋市、大阪市までの約438kmを、独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線のこと。 |
| わ | ワーク・ライフ・バランス | 12, 59 | 企業にとっては労働生産性の向上や優秀な人材の確保・定着のため、働く個人にとっては、安定的な暮らしと心豊かな生活の両立を達成するため、仕事と生活の調和を図ること。 |